

氏 名	佐藤瑞穂
所 属 校 名	柴田学園大学
所 属 学 科	健康栄養学科
職 名	助教
学 位	博士（農学）
研 究 分 野 の キ ー ワ ー ド	栄養、ストレス、うつ病、運動、オーバートレーニング症候群

内 容	論文題目及び雑誌、発表演題及び学会名等
著 書 (2020 ～ 2024 年 度)	
論 文 (査 読 有 り 雑 誌 等) (2020 ～ 2024 年 度)	Mizuho Sato, Alato Okuno, et al. Dietary Hesperidin Suppresses Lipopolysaccharide-Induced Inflammation in Male Mice. 共著論文. 2022年10月. Sage Journals. International Journal of Tryptophan Research, 28巻, 15号. Kazutoyo Yoda, Mizuho Sato, et al. Effect of Probiotic Bifidobacterium bifidum TMC3115 Supplementation on Psychosocial Stress Using a Sub-Chronic and Mild Social Defeat Stress in Mice. 共著論文. 2022年2月. MDPI. Nutrients, 14巻, 5号. Atsushi Toyoda, Mizuho Sato, et al. Metabolomic analyses of plasma and liver of mice fed with immature Citrus tumida peel. 共著論文. 2020年6月. Taylor & Francis Group. Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry, 84巻, 6号, 1-7頁.
論 文 (査 読 な し 雑 誌 等) (2020 ～ 2024 年 度)	
学 会 発 表 (2020 ～ 2024 年 度)	田中 彩加里, 佐藤 瑞穂, 川瀬 貴博, 塚原 隆充, 豊田 淳. ヘスペリジンの給与がBALB/cオスマウスの社会行動及び脳内キヌレニン経路に及ぼす影響. 日本栄養・食糧学会 大会講演要旨集 77回 284-284 2023年3月 石其慧太, 佐藤瑞穂, 谷島優平, 豊田淳, 豊田淳. 飼料の違いが社会的敗北BALB/cマウスの行動に与える影響. 日本農芸化学会大会講演要旨集(Web) 2020 2020年 佐藤瑞穂, 奥野海良人, 鈴木一徳, 石其慧太, 谷島優平, 豊田淳, 豊田淳. ヘスペリジンはLPS投与モデルマウスの血中白血球および脳内キヌレニンの増加を抑制する. 日本栄養・食糧学会大会講演要旨集 74th 194-194 2020年
そ の 他 の 活 動 (2020 ～ 2024 年 度)	佐藤瑞穂. 水戸ホーリーホックMake Value Project講師「サッカー選手の身体状況を評価する尿生化学検査法開発」. 2021年8月 佐藤瑞穂. 茨城県立太田西山高校サッカー部栄養相談会 講師「スポーツ選手の体格と食事について」. 2022年2月 佐藤瑞穂. 茨城県立太田西山高校「IBARAKIドリーム・パス事業」特別顧問. 2022年1月 佐藤瑞穂. 学校法人栗村学園 水戸平成学園招待授業 講師「折れない心に必要な栄養とは？」. 2021年12月 佐藤瑞穂. 福島県立湯本高校模擬授業 講師「高齢者の栄養サポートについて」. 2022年1月
著 書 (2019 年 度 以 前)	
論 文 (査 読 有 り 雑 誌) (2019 年 度 以 前)	Mizuho Sato, Alato Okuno, et al. Dietary intake of the citrus flavonoid hesperidin affects stress-resilience and brain kynurenine levels in a subchronic and mild social defeat stress model in mice. 共著論文. 2019年5月. Taylor & Francis Group. Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry, 83巻, 9号, 1-7頁. Mizuho Sato, Tatsuhiko Goto, et al. Dietary Intake of Immature Citrus tumida Hort. ex Tanaka Peels Suppressed Body Weight Gain and Fat Accumulation in a Mouse Model of Acute Obesity. 共著論文. 2019年3月. J-STAGE. Journal of Nutritional Science and Vitaminology, 65巻, 1号, 19-23頁. Atsushi Toyoda, Mizuho Sato, et al. Effects of non-purified and semi-purified commercial diets on behaviors, plasma corticosterone levels, and cecum microbiome in C57BL/6J mice. 共著論文. 2018年3月. Elsevier. Neuroscience Letters, 670巻, 36-40頁. Jian Lu, Mizuho Sato, et al. Development of implantable wireless sensor nodes for animal husbandry and MedTech innovation. 共著論文. 2018年3月. Molecular Diversity Preservation International. Sensors, 18巻, 4号. 菊池浩子, 佐藤瑞穂, 瀬崎美貴, 鈴木宏昌, 梶本雅俊. 要介護高齢者の栄養管理を目的とした身長推定における膝高と脛骨長の有用性に関する検討. 共著論文. 2017年4月. つくば国際大学医療保健学研究 8 1-10頁 瀬崎美貴, 飯島良江, 佐々木貴子, 染谷まゆみ, 豊田夕子, 佐藤瑞穂, 鈴木敬久, 野崎礼史, 菊池浩子, 鈴木宏昌. 起立困難な高齢者における簡易体重推定法の検討. 共著論文. 2016年11月. 日本静脈経腸栄養学会雑誌 31 (3) 843-848頁.
論 文 (査 読 な し 雑 誌) (2019 年 度 以 前)	
学 会 発 表 (2019 年 度 以 前)	鈴木 一徳, 佐藤 瑞穂, 中島 聡美, 堀端 大路, 塚原 隆充, 豊田 淳. ガラクトオリゴ糖の長期給与が食事誘発性肥満モデルマウスにおよぼす影響. 日本栄養・食糧学会大会講演要旨集 73回 190-190 2019年4月 佐藤瑞穂, 奥野海良人, 鈴木一徳, 大澤夏樹, 井上栄一, 井上栄一, 宮口右二, 宮口右二, 豊田淳. ヘスペリジンの給与は慢性社会的敗北ストレスによる脳内キヌレニンの増加を抑制し, 社会的ストレスに対する抵抗性を付与する. 日本栄養・食糧学会大会講演要旨集 73rd 211-211 2019年 佐藤瑞穂, 鈴木一徳, 大澤夏樹, 奥野海良人, 井上栄一, 宮口右二, 豊田淳. ヘスペリジンの慢性給与は心理社会的ストレスに対する抵抗性を向上させる. 日本神経科学学会 2018年7月26日 佐藤瑞穂, 鈴木一徳, 大澤夏樹, 井上栄一, 宮口右二, 豊田淳. 未熟フクレミカンの果皮粉末の給与が慢性社会的敗北モデルマウスのレジリエンスにおよぼす影響. 栄養食糧学会 2018年5月12日 鈴木 一徳, 市川 美沙紀, 佐藤 瑞穂, 中島 聡美, 小田原 達郎, 堀端 大路, 鏡 朋和, 豊田 淳. ガラクトオリゴ糖の給与が慢性社会的敗北ストレスモデルマウスのストレス抵抗性におよぼす影響. 日本栄養・食糧学会大会講演要旨集 72回 230-230 2018年4月 豊田 淳, 佐藤 瑞穂, 井上 栄一. 未熟フクレミカンの果皮給与がC57BL/6Jオスマウスの体重と代謝産物に与える影響. 日本栄養・食糧学会大会講演要旨集 71回 297-297 2017年4月 佐藤瑞穂, 鈴木一徳, 大澤夏樹, 井上栄一, 宮口右二, 豊田淳. 未熟フクレミカン果皮成分の給与が慢性社会的敗北モデルマウスのストレス脆弱性におよぼす影響. Hindgut Clubシンポジウム 2017年12月2日 佐藤瑞穂, 井上栄一, 宮口右二, 豊田淳. フクレミカンの未熟果皮粉末給与が慢性社会的敗北モデルマウスの社会行動におよぼす影響. 神経科学学会 2017年7月22日 佐藤瑞穂, 豊田淳. 恒明条件がC57BL/6Jマウスの増体に与える影響. 栄養食糧学会 2017年5月20日 佐藤 瑞穂, 白取 知大, 後藤 達彦, 井上 栄一, 豊田 淳. 未熟フクレミカン果皮の給与がマウスの増体に及ぼす影響. 日本栄養・食糧学会大会講演要旨集 70回 305-305 2016年4月 佐藤瑞穂, 豊田淳. フクレミカンの未熟果皮粉末が慢性社会的敗北モデルマウスのストレス脆弱性におよぼす. Hindgut Clubシンポジウム 2016年12月3日 佐藤瑞穂, 白取知大, 後藤達彦, 井上栄一, 豊田淳. 未熟フクレミカン果皮の給与がマウスの増体に及ぼす影響. 日本栄養食糧学会 2016年5月15日
そ の 他 の 活 動 (2019 年 度 以 前)	